

第 1 1 回 炉定数グループ会合議事録

日 時 1月17日(13時~17時30分)
場 所 原研東京本部第二会議室
出席者 深井、飯島、小松(NAIG)、立花(原発)、森田、嶋田、
(MAPI)、加藤、棚町(IBM)、坂田、桂木、石黒、安川、
土橋(原研)

配布資料

1. 前回会合議事録
2. ENDF(処理作業分担)配分表
3. 炉定数表グループ Compilation グループ
第1回会議議事録
4. ENDF NEWS LETTER
5. Be の断面積のカーブ
6. Pu-239 の共鳴パラメータと実効断面積
7. ENDF DATA LIST
8. Converter Code の Flow chart

回覧資料

1. サーマルグループ・プロットの結果

議 事

- I 前回議事録の確認(桂木氏)

Page 2 8行 9行

-----三月下旬までに fitting の方針を定める、と訂正する。

以上確認された。

II 桂木委員より運営委員会についての報告

1. 委員の交替、追加、についての報告
2. JNDC Newsletter についての報告 (略)
3. 41年度予算について報告 (略)
4. EANDC への report、data request についての会合 (3月3日) 通知を東海在住者中心に出した。

III ENDF NEWS LETTER (桂木氏)

桂木委員より内容の紹介 別紙配布資料の通り

IV サーマルワーキンググループの作業現状について、(安川氏)

原 研 (安川、土橋)

(U-234, Pu-242, Pu-241) GA-2113 BNL-325 AECL-1101, Tempest (H) の Data を比較したが AECL-1101 の 2200 value は高すぎる。

Tempest (H) がはずれている。

α にひどくバラツキがある。

三 菱 (島 田)

(Pu-239, Pu-240) Tempest がいくらかづれている以外一致がよい。

NAIG (飯 島)

U-233 Aldermaston が 0.01-0.1 でいくらか高い。

α はばらついている。

今後 data のまとめと fitting についての会合をもつ予定である。

V ENDF 評価作業配分について (桂木) 原案が提出された。

isotope を Record の数によつて7グループに分けた。

作業内容

Be について行つた Sample のように BNL-325 その他と比

較してカーヴプロットをする。

作業は group 全員でやる。したがって compilation group も共同して行い。

全エネルギー領域について作成する。

分担は、日立、NAIG MAPI、住友、富士、東大、京大、原研、なお原発（立花氏）も加わりたいとの意向が表明された。

VI ・ Converter・ Code （桂木）

Flow chart の変更のあつた個所の説明が桂木氏よりあつた。

VII Compilation グループの会合議事録の説明 （桂木）

提出資料 Pu-239 の共鳴パラメータと実効断面積についての説明があつた。

VIII 共鳴領域の smooth part （石黒）

提出された案が承認され日本 IMBにて programming が行われることになつた。

次回予定 4月 日